



貴志川線の未来を“つくる”会
kishigawa-sen.com

貴志川線の未来を“つくる”会

VOL 2
2005.5

花開く



住民パワーで貴志川線の存続実現

貴志川線の後継事業者に岡山電気軌道（岡山市）が4月28日決定しました。和歌山市と貴志川町が実施した公募には9企業・個人が参加。選考の結果、岡山市内で路面電車を運行し、鉄道事業の実績があることが、評価されたものです。

くらしの線路「貴志川線を残したい」という6000余人の会員の熱い思いと行動が、行政や企業を動かしご理解をいただき、目的であった貴志川線の存続を実現させることができました。ご報告するとともに喜び合いたいと思います。

●来年4月の運行開始めざす

後継事業者の選定を受けた岡山電気軌道は、「貴志川線存続、永続に向けて、安全運行を第一に、地域発展のために事業を引き受けさせて戴いた。地域に根付いた企業となり、皆様と共に永続可能な事業へと転換していくことを当面の目標として務めてまいります」との小嶋社長のコメントを発表しました。

●運営協議会を設置し地域の声を反映

事業計画では、100%出資の新会社を和歌山市内に設立し、現行ダイヤを維持するとともに、公共交通利用促進協議会の設

立、イベント列車の運行などで利用促進、増収計画を図る。

特に、地元の意見吸収のため、有識者・市民団体等で運営協議会を設立し、地域の声を反映した開かれた経営を実施していくとしています。

●南海へ運行期間延長申し入れ

今後は事業免許の取得、南海との譲渡手続き、運転士等要員養成などに入りますが9月末までには困難であり、市・町では南海へ撤退期限の延長を申し入れており、新会社は18年4月1日から運行を開始したいとしています。

**貴志川線の新運営事業者
岡山電気軌道に決定**

新会社の社名を募集しています

岡山電気軌道は、新たに設立する会社の名前を、地域の皆さんから広く公募しています。

- ◎応募期間5月16日～6月10日
- ◎ひとり何点でも可、はがきまたはメール
- ◎あて先 テ700-0866

岡山市岡南町1丁目14-41

岡山電気軌道（株） 新会社社名募集係
・電車運転士研修生も募集中、詳細はHPで

岡山電気軌道株式会社

両備グループ（全42社、総社員数6000人）の一員で、明治43年創業。岡山市内で路面電車やバスを運行。資本金2億円、従業員262人で黒字経営を続けており、03年度の営業収益は約21億6600万円。

市民団体とも連携して、地方鉄道の維持発展、地域交通確保を提唱、低床路面電車の導入など積極的な経営を実施しています。

会員のみな様へ ごあいさつ



貴志川線の新たな運営会社が岡山電気軌道に決まりました。末長く存続できるようさらに私たちの取り組みが求められています。

この度、新運営会社に決まりました岡山電気軌道社長の小嶋光信様から会員のみな様へのメッセージをお寄せいただきました。会の濱口代表のあいさつとともに掲載いたします。

岡山電気軌道株式会社 社長

小嶋光信

ご期待に応えるよう努力します
一緒に地域と貴志川線の未来をつくりましょう。

貴志川線の未来を“つくる”会の皆様へ

このたび皆様を中心とした貴志川線の存続を計る熱き運動が実り、存続が決定したこと深い敬意を表します。また、このたびその貴志川線の事業継承者として、わたし共を選んでいただき、大変光栄に思いますとともに、必ず期待に添えるように、安全とサービスに努力して、乗客の減少に歯止めをかけるだけでなく、一人でも増やせるように粉骨碎身の努力をお約束致します。

わたし共が貴志川線の事業継承に応募した経緯は、岡山の市民団体のRACDA（路面電車と都市の未来を考える会）を通じて、皆様とお知り合いになり、その存続への並々ならぬ努力と迫力に接したことが動機でした。

わたし共も明治以来の鉄軌道会社ですが、バスやマイカーの普及によって、昭和40年代当初路面電車のすべての路線が廃止されるところを、当時の社長の努力でほんの一部を火種として残しておりました。しかし、マイカーの普及は止まるところを知らず、乗客の減少の中、必死の経営努力で黒字を確保し、生き残って参りました。今後の環境の問題、都市の騒音や排気ガス、交通事故の問題などで、「電車、バス利用で、歩いて楽しいまちづくり」への転換を提唱しています。言っているだけでは分からぬので、21世紀の都市交通としてハウステンボス号や由布院号、最近では九州新幹線つばめをデザインされた水戸岡先生デザインによる次世代ライトレール「MOMO」を導入して、ライトレールの普及を訴えておりました。しかし、われわれが30年代後半から40年代に犯した同じ廃止という過ちが、再び地方鉄道路線で吹き荒れ出したことにいたたまれず、その存続へわたし共の経営のノウハウが少しでもお役に立てばと、ボランティア活動を致しております。

当時まさか貴地に出て行くことになるとは、思いませんでしたが、皆様の熱きお勤めと、応募者に鉄軌道を扱った応募者がいないということもあり、それならわれわれのノウハウが少しでもお役に立てばということで、応募したというのが経緯です。それと、わかやまとおかやまと一字違いで、貴地に親しみがあったとともに事実です。

「乗って残そう貴志川線」というキャンペーンを貴会が提唱されているように、これから事業継承でも、地域の皆様が乗っていただくことが課題です。

そのためには、ただ現状維持だけではありません意味がなく、貴会が未来を“つくる”ことに力を注いでおられるように、発展させる地域造りが課題です。

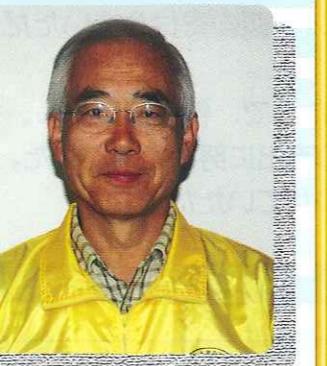
そのためには、

1. 沿線の神社、仏閣などの歴史的なもの、大池公園などの観光施設を活して、地域の活性化をはかること。
2. 駅前の整備や、沿線開発を促し、自転車やマイカーとのパークアンドライドなどをすすめることが大切だと思います。

私も精一杯頑張りますが、地元の皆様の意見を吸収する「運営協議会」を立ち上げるつもりですので、是非ご一緒に未来をつくりたいと思います。

貴志川線の未来を“つくる”会 代表

濱 口 晃 夫



貴志川線の末長い存続へ、利用促進など
さらにご支援とご協力をお願いします。

本会は貴志川線の存続を願う皆様方の熱意あるご支援のもと、活動をつづけてまいりましたが、多くの方々のご理解を得て、会員数も6200名を超える数となりました。

この住民パワーを行政の方々がご理解いただき、財政的支援をいただけることとなったのはご承知のとおりです。その後公募が行われ、経営を引き継いでもらえる会社が、岡山電気軌道（株）と決定いたしました。

岡山電気軌道（株）は岡山市で路面電車を走らせている、両備グループに所属している会社です。このように信頼できる会社に決まったことについて、皆様とともに歓喜し喜びたいと思います。

実際に新会社のもとに、鉄道として走るためには、少し時間が掛かりますが、新会社や行政機関とともに、私たち鉄道利用者も関わっていく必要があります。未永く鉄道を存続させるためには何をしなければならないのか、特に利用促進等について真剣に取り組んでいかねばなりません。会員の皆様は今以上に貴志川線のご利用を、月に一往復以上多く利用するように心がけていただければと考えます。

われわれの願っていた存続に大きく前進し、光がさしこんでまいりましたが、全てが完結したわけではありません。さらに活動の強化を図らねばなりません。皆様方にあっても、気を緩めることなくご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



会報第1号発行以降（17年2月28日）新運営事業者の公募が実施される中、定期執行部会を月2回開催し情勢の把握や分析を行いながら、利用者増イベントを中心に駅美化清掃活動などの活動を積み重ねてきました。

駅美化清掃活動やイベントに、ご参加、ご協力いただいた会員の皆様に感謝とお礼を申しあげます。



'05.3.13 山東駅、4.17 神前駅清掃のべ31名参加
(写真は神前駅)



'05.4.9 「春み～つけた」ウォーキング
伊太祁曾神社～大池遊園 50名参加



'05.4.23
「貴志川線乗客
たけのこ掘り」
四季の郷公園
親子で楽しく
50名参加



沿線マップや「祭り三昧」「いちご狩り」のチラシを作成し、駅頭配布や、車内、スーパーに置きました。



会の歩み その2

2004年度会計決算報告

2004年9月5日～2005年3月31日

○2004年度会計決算がまとまりましたので、ご報告いたします。会費収入が全く予想がつかない中の活動でしたが、皆様の熱意で多くの加入と、多額の寄付金をいただき、“会”の財政基盤を確立し、運動を発展させることができました。

○支出については、予算がない中の執行でありましたので、慎重に対処し、行動については、役員、会員の皆様のボランティアに支えられ、必要最小限の支出に努めてきました。

○繰越金については、全額2005年度活動費として使わせていただきます。

〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
会 費	6,182,000	1,000円×6,182名
寄 付 金	252,000	個人6名、団体2件
雑 収 入	13	普通預金利息
合 計	6,434,013	

〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
広告宣伝費	829,431	のぼり、ポスター・チラシ・沿線マップ印刷代、ジャンパー等
通 信 費	617,855	はがき、切手代(会報発送、フォーラム・勉強会、等)
事 業 費	338,299	勉強会、フォーラム、会報、駅美化、住民会議、等
事 務 費	328,155	封筒、宛名ラベル、ラミネーター、用紙、写真材料、リボン、等
旅費交通費	178,580	街づくり会議(平田市)、フォーラム講師・パネリスト
保 険 代	21,000	のぼり・看板賠償責任保険(05/03/23～06/03/23)
雑 費	3,073	のぼり掲出許可申請・継続申請
合 計	2,316,393	

〈決算内容〉

収 入	6,434,013	
支 出	2,316,393	
繰 越 高	4,117,620	

〈繰越内容〉

普 通 預 金	4,006,263	和歌山銀行東和歌山支店
現 金	111,357	
	4,117,620	

会計監査報告

2005年4月23日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口 晃夫 殿

監 事 杉 林 雅 義 ㊞

西 村 久 代 ㊞

貴志川線の未来を“つくる”会規則第6条4項にもとづき、2005年度会計監査を実施したので下記により結果を報告します。

記

- 監査実施日 2005年4月23日
- 監査場所 つくる会事務局
- 監査対象 2004年度会計
- 監査期間 2004年9月5日～2005年3月31日
- 監査の結果 帳簿、証拠書類等、正確かつ適正に処理されていることを認めたので報告いたします。

以上

トピックス

存続へ学生も立ち上がった 7高校・1短大で「貴線祭」開催

貴志川線の利用者増を図ろうと、沿線の学生が「学生で何かできないか」と話し合い実行委員会を結成。5月7日貴志川町の諸井橋河川敷を会場に「貴線祭」を開催し、バンド演奏や展示、フリーマーケットや屋台もでて大変にぎわいました。

実行委員会では「来年も開き、貴志川線の利用者増につながるイベントにしていきたい」と語っており、運動の輪は拡がっています。

アンケートは 6月10日までにポストへ

会報と共にお送りしているアンケートは、
切手を貼らずに投函して下さい。

会員数

6268(5/14現在)

発行：貴志川線の未来を“つくる”会

和歌山市伊太祈曾558(伊太祈曾神社)TEL073-478-0006

発 行 者

濱 口 晃 夫